



学校教育目標「溢れる英知 輝く笑顔」～学習いっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい～

「夢に向かって」

校長 田代敏生



さいたま市大宮盆栽美術館

昨日、11月30日(水)に「夢工房 未来(みら)くる先生講演会」を開催し、講師としてさいたま市大宮盆栽美術館学芸員の石田 留美子氏においでいただきました。石田氏は、上尾市生まれで、浦和第一女子高校、早稲田大学を卒業後、東京藝術大学大学院美術研究科を修了されました。専門は中国現代美術。2004年～06年には上海に在住し、現地の美術館にて展示企画等を担当。帰国後、2012年からさいたま市大宮盆栽美術館に勤務され、教育普及活動を中心に展覧会や子ども向けワークショップ等を担当されています。

講演では、クイズや英語スキットを取り入れ、盆栽の魅力を楽しく伝えていただきました。その中で、「盆栽は、世界で

唯一の“生きている芸術(Living ART)”。」という言葉が心に残りました。平成29年4月27日(木)～30日(日)には“第8回世界盆栽大会inさいたま”が開かれます。さいたま市が誇る盆栽が、世界の“BONSAI”としてさらに広がることを願いたいと思います。

ところで、現在3年生は、進路選択、進路実現に向けての受験勉強、受験準備の真っ最中です。受験勉強は、単に合格するために点数を取るためだけの勉強ではなく、義務教育の総仕上げ、高校での専門的な学習の準備のための勉強でもあります。また、将来の自分の夢を実現するための勉強とも言えます。この時期、市内の多くの中学校では、高校入試での面接試験の練習も兼ね、校長が3年生と個人あるいはグループで面談を実施しています。本校でも、放課後の時間を活用して9月から開始し先月までに、一人ひとりの生徒との個人面談を終了しました。勉強について尋ねると、平日の勉強時間は3～4時間の生徒が多く、また、8割以上の生徒が週に3日程度塾に通い、中には週6日という生徒もいました。そして、将来の夢については、「保育士、医者、サッカー・野球のプロ選手、体育科・社会科・音楽科教師、父親の後を継いで自動車関係の仕事、ネイリスト、プログラマー、公務員、トリマー、イラストレーター」など具体的に答える生徒がかなりいました。その夢の実現に向けた第一歩として、高校・学科を選択し、その後の進路も考えているようです。進学したい大学名と学部名、また就職したい企業名を胸を張って答えた生徒もいました。また、親を少しでも助けるため多くの資格が取れ、就職に有利な商業科を選択したという生徒もいました。さいたま市の目指す子ども像の中にも、「将来なりたい職業を見つけられる子ども」があります。一人ひとりの夢が実現することを願って止みません。10月31日(月)に開催した創立70周年記念演奏会において、素晴らしいトランペット演奏とともにお話をいただいた本校平成4年度卒業の斎藤秀範氏が、「普通に負ける人が多い。普通はこうだよと言われ、夢をあきらめる人が多い。本気なら全力で夢の実現に向かって進んでほしい。」と述べられた言葉が強く思い出されます。

いよいよ師走です。1年のまとめの月でもあります。改めて、保護者、地域の皆様に対しまして、今年一年のご支援、ご協力に深く感謝申し上げますとともに、良い年をお迎えくださいますようお願いいたします。



本校校庭 黄葉の銀杏

